

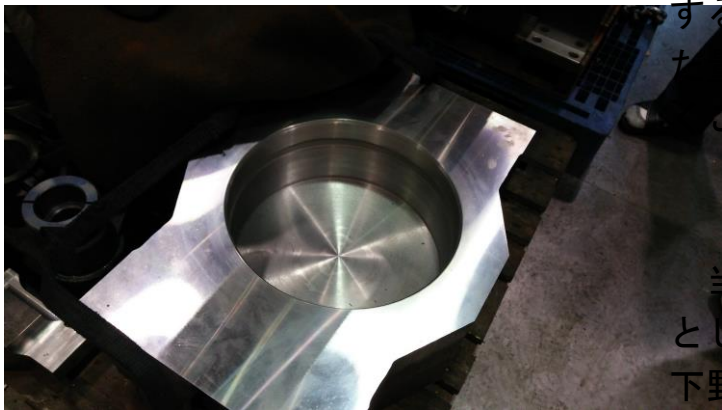
(有)日公精機製作所

金属の塊を大きな機械で切削加工する町工場です。4トン級大型機械での加工を得意とし、車検向け検査機器、自動車部品、造船関連、食品機械をはじめとした、様々な大型機械の部品を加工しています。注文は「一品モノ」がほとんどです。都市部で大型部品・一品モノを加工できる町工場は少なく、日公精機の職人さんなしには日本の産業機械は完成しないのです。



<オールマイティーに対応！>

加工をする際の材料は、鉄、ステンレスなど、どんな金属でも加工することが可能です。この柔軟性によって様々な分野の切削加工に対応でき、日公精機の大きな強みとなっています。工場内に機械は20台以上あり、ひとつの機械でどんな材料でも切ったり削ったりできますが、的確に加工するためには経験と技術力が重要となります。また量産ではないため、作業を効率化よく進めていることも必要となります。



<日公精機製作所の成り立ち>

当初は東京の蒲田で自動車部品加工の町工場として事業を開始しました。2代目になってから下野毛に移転し、現在のような大型機械の加工を得意とするように変わっていきました。



<充実した人材育成>

従業員は9名で、そのうち加工に携わっているのは6名です。年代は20代から70代までと幅広く、若い世代には図面の読み方から丁寧に教えており、技能継承にも力をいれています。

非常に多くの取引先からの依頼を受けて仕事を行っています。このことから長年築き上げてきた確かな技術力と信頼がうかがえます。

(文責：専修大学経済学部遠山ゼミ 山崎怜美)